

近畿大學 法學

第三十八卷
第一、四合併号

近畿大学創立六十五周年

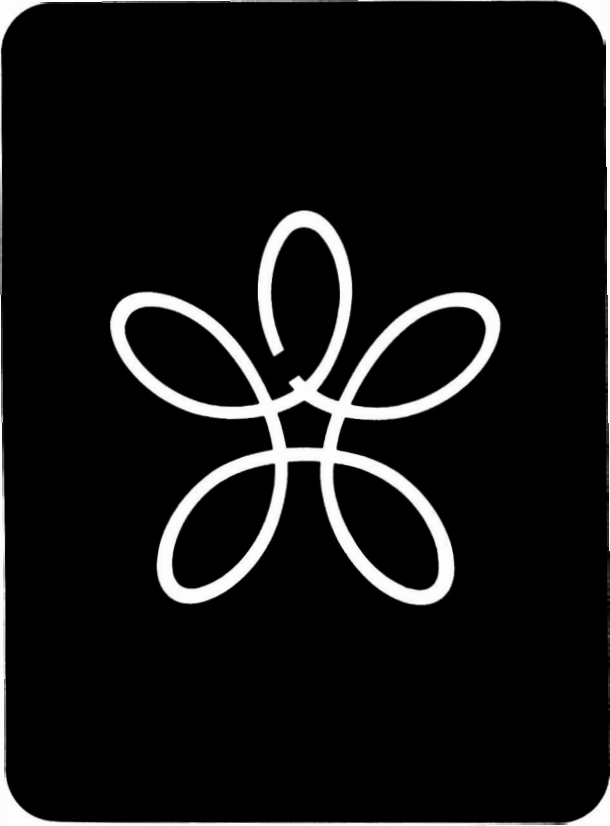
記念論文集



近畿大學 法學

近畿大學創立六十五周年

紀念論文集



創立65周年を記念し，制定された新しい学園章。

学園章の制定について

このたび、創立65周年を記念して近畿大学学園のシンボルマークとして学園章が制定されました。

本学の学園花は「梅花」であります。「難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」(古今集・序)。「梅花霜雪を経て開く」。いずれも自然の苦難を通して、春いちばん、品格高い花が咲く。これを、象徴しています。

このたびの新しい学園章は、この梅の花弁を、少しぼぐしてシンボル化したものです。五つの花弁は「大学」の「大」の字をかたどり、人間づくりの「人」そのものを表しています。また、五つの花弁の真ん中は大阪を中心に、まわりを広島、九州、紀州、兵庫の但馬・豊岡、奈良と、近畿大学所在地の大別五地域を「大」がつなぎ固めている、という象徴的意味を持っています。

さらに、上方中央の輪がやや離れている部分は、学園が未来志向型の大学であり、内面的に未完なるがゆえに、今後さらに充実・完成を目指し、努力を傾けていく姿勢を示したものであります。

極めて簡潔に、一本のつよい曲線の連続によって描かれています。

六十五周年記念論文集発刊によせて

近畿大学総長 世 耕 政 隆

法学部において、本学創立六十五周年を記念し、論文集が刊行されることは、まことに喜ばしきかぎりであります。

大正十四年（一九二五）、大阪における私学唯一の専門学校として開講された大阪専門学校は法学部の前身であります。当時は、勤労学生が多く、パンをかじりながら勉学にいそしみ、困難にたえながら、通学したと伝えられております。

昭和二十四年（一九四九）、新制近畿大学の開学にともない、翌昭和二十五年（一九五〇）法学部法律学科が、また昭和四〇年（一九六五）には、在来の法律学、経営学科が単一では及びえない学問分野として、当時、ユニークな経営法学科が設置され、今日にいたっております。卒業者は、各界に進出し活躍しております。

今日、本学は未来志向性の大学として、自然、社会および人文科学の各系すべてを包括する大き

な総合大学となっております。社会への先導的役割をはたしつつ、大学は現代社会のあたらしき変遷にもつねに対応しうる存在であるべき宿命を負っております。

法学部においても、世界内状況、社会的変化、時代の希求するものへの対応として、新カリキュラムを実施され、新しい時代に対応し、広大な視野に立つ法学とその人への展開に努めておられると聞きおよんでおります。

本記念号は、六十五周年を記念しての刊行ですが、現在を、また新しい出発として、さらにつきの大きいなる時代に向かって法学部が学問、研究、教育・文化等あらゆる面に充実・発展し、各野に大きく貢献されんことをひたすら念ずるものであります。

刊行の辞

近畿大学が設立されて今年で六十五周年を迎えた。また法学部も四十周年を迎えたことを記念としてここに記念論文集の発刊のはこびとなった。

法学部は、法律学科と経営法学科の二学科をもつ学部を基礎として、法学研究科として博士前期と博士後期の大学院をもっている。

本書は前法学部長の雑賀芳三教授の発案で昨年以來本書発刊を決議し、計画を進めてきたものである。

当初は全スタッフが執筆する予定で進められたが、スタッフ各位のなかには研究計画の時期に合わない方もおられ、全スタッフの執筆を実現できなかったことは残念であるが、多くの方々によって発刊のはこびとなった。ここに御協力下さった方々にお礼を申し上げます。

一九九一・二・一四

法学部長 播磨良承

目次

記念論文集発刊によせて……………	近畿大学総長 世耕政隆
刊行の辞……………	法学部長 播磨良承

論説

アメリカにおける政治改革の新しい動き……………	石田榮仁郎……………(一)
-------------------------	---------------

国際合同委員会に関する一考察……………	伊藤勝美……………(三)
——カナダ・合衆国政府間組織研究序説——	

「リユーベック法」研究のための一つの覚書……………	稲元格……………(九)
---------------------------	-------------

法社会学序説……………	牛尾茂夫……………(三五)
——序章——	

国際連合と専門機関における職員問題の調整……………	遠藤安彦……………(五)
---------------------------	--------------

現行民事訴訟法における瑕疵の治癒を定める

諸規定に関する一試論

永井博史……………(一五)

——「訴訟行為の瑕疵とその治癒」についての序説——

Design の法的保護の条件と実質的根拠

播磨良承……………(三六)

——わが意匠法の理解のために——

米國貯蓄金融機関の破綻と預金保険制度をめぐる諸問題……………本多新平……………(三三)

他人の添え手による補助を受けて書いた自筆証書遺言……………前田正昭……………(三四)

有限会社から株式会社への組織変更……………増田政章……………(三五)

——ドイツ法での資本変更に関連して——

国選弁護人の弁護報酬について……………山本正樹……………(三六)

INDEPENDANCE ET RESPONSABILITE DU

JUGE ET DE L'AVOCAT ………………若林安雄……………(三六)

Contents

ForewordMasataka Sekoh

Preface.....Yoshitsugu Harima

Articles

The New Actions of Political Reform in the United States
.....Hidejiro Ishida (1)

An Inquiry into the International Joint Commission :
An Introductory Study of the Canada-US Intergovernmental
OrganizationsKatsumi Ito (51)

Ein Memorandum über die Forschung nach dem Recht Lübecks.
.....Itaru Inamoto (91)

An Essay on a New Sociology of LawShigeo Ushio (125)

An Adjustment of the Staff Problem between
the United Nations and Special Organizations
.....Yasuhiko Endo (153)

Eine Studie über die Vorschriften in der geltenden ZPO,
die die Heilungen der Prozeßmängel bestimmen.
.....Hirofumi Nagai (185)

Legal Protection of the Design in Japan
.....Yoshitsugu Harima (217)

The S & L Insurance Mess and Issues in the Reform
of Deposit InsuranceShimpei Honda (321)

Le testament olographe à main guidéMasaaki Maeda (349)

Die Umwandlung einer GmbH in eine AG, besonders
Kapitaländerung bei DeutschlandMasaaki Masuda (371)

Die Gebühren des gerichtlich bestellten Verteidigers
.....Masaki Yamamoto (411)

INDEPENDANCE ET RESPONSABILITE DU
JUGE ET DE L'AVOCATYasuo Wakabayashi (456)

KINKIDAIGAKU HŌGAKU

THE LAW REVIEW OF KINKI UNIVERSITY

March 1991

Vol. 99

No. 1·2·3·4

In Celebration of the 65 th Anniversary
of Kinki University

THE LAW SOCIETY
OF
KINKI UNIVERSITY
OSAKA JAPAN

執筆者紹介（掲載・五十音順）

石田	伊藤	稲元	牛尾	遠藤	永井	播磨	本多	前田	増田	山本	若林
榮仁郎	勝美	格	茂夫	安彦	博史	良承	新平	正昭	政章	正樹	安雄
（法学部教授）	（法学部教授）	（法学部助教授）	（法学部教授）	（法学部助教授）	（法学部講師）	（法学部教授）	（法学部教授）	（法学部教授）	（法学部教授）	（法学部助教授）	（法学部教授）

編集委員

委員長	石田
委員	鳥谷部
委員	永井
委員	博史
委員長	榮仁郎

平成三年三月二十日印刷
平成三年三月三十日発行

編集人 近畿大学法学会

印刷所 近畿大学印刷部

近畿大学法学部内
発行所 近畿大学法学会

東大阪市小若江三丁目四一
電話大阪(071)二三三二番
振替口座 大阪二五一一五
郵便番号 五七七七